

酪農とちぎ



8月4日宇都宮支所全体交流会より

「キャラクター^{えみ}笑味ちゃん」

- 1 ページ 表紙
- 2 ページ “フレッシュウーマン” 紹介
- 3～4 ページ 東西南北（各支所）
- 5～6 ページ 部課だより（指導企画課）
- 7 ページ “ ”（生乳受託課）
- 8 ページ 理事会だより、お知らせ、市場成績



みんなのよい食プロジェクト



『フレッシュウーマン』紹介!

今回、栃木県学校農業クラブ連盟、海外派遣研修事務局主催の「平成 29 年度 第 12 回 ニュージーランド派遣研修」に参加した木村日香さん 16 歳（那須高原支所組合員で木村誠さんの後継者）の研修報告を紹介します。

ニュージーランド派遣研修報告書（2017 年 7 月 9 日～7 月 21 日）

那須拓陽高校 食品科学科 木村^{にち}^か日香



私がニュージーランド派遣研修に参加した動機は、農業体験と語学力の向上です。私は将来就農したいと考えています。また、高校では食品科学科を専攻しています。自分の家の生乳を使い 6 次産業化もしたいと考えています。私は日本の農業だけでなく海外の農業を体験してみたいと思いました。また今後の日本の農業を考えると農業を勉強・実践し、かつ英語の話せる人材が必要だと思い、英語でコミュニケーションがとれるようになって世界を見てみたいとの夢から、ニュージーランド研修に参加しました。

ニュージーランドに到着して初日は観光でしたが、2 日目は語学研修のあと、タウランガ地区の酪農ファームを見学しました。所有している敷地の面積が日本の倍以上で、実際に見てみるととても広く、衝撃的でした。

日本の牛舎よりコスト削減したつくりで面白かったです。特に、子牛の哺乳の仕方です。ミルクバーで一斉にあげているのは初めて見ました。飲む量に違いが起きないのかとても気になりましたが聞くことができず少し悔しいです。その日の夕方にホストファミリーと対面しました。ホームステイ先は所有している森に囲まれた場所にあり、ネイチャーガイドや民宿も行っているそうです。羊とにわとりも飼育しており、豊かな自然に囲まれた綺麗な家でした。ホストファミリーのチームとデビーもとても親切でユーモアあふれる人たちでした。私たちのことを愛娘と呼び、可愛がってくれて嬉しかったです。ファームステイでの生活は、主に羊とにわとりの餌やりをしました。その中で、羊の注射も体験させてもらいました。チームさんが、私が将来、酪農をやりたいと話したところ隣の家に牛を見に連れて行ってくれました。徒歩で行ったのですが遠かったです。ですが、とてもいい体験をさせていただきました。チームさんとデビーさんはニュージーランドの自然をこよなく愛する人たちでした。特にチームさんは愛鳥家で、森を案内しながら有名な鳥から、珍しい鳥まで教えてくれました。一番好きな鳥は T u i だそうです。その他にも、ショッピングやホットプール、山登りやホビットタウンにも連れて行ってくれました。農業だけでなく、ニュージーランドの素敵などこに気が付けました。



ホームステイ先
ホストファミリーと一緒に!



世話をした羊達!

私は、今回の研修に参加できて本当に貴重な体験をさせていただきました。これから農業をしていく上で、固定観念にとらわれることなく広い視野で物事が判断できる人になりたいです。

I want to say thank you to all the people, especially to my parents,
They gave me a chance to study in New Zealand.
Thank you so much!

It will be my treasure in my life.



東西南北

那須高原支所

『今年も大盛況野外パーティー開催』

8月9日、那須町共同利用模範牧場において、野外パーティーが開催されました。支所活動推進協議会が主催するこの行事は今年で15回目を迎え、総勢390名余が一堂に会し盛大に行われました。

藤田一義協議会長より主催の挨拶、臼井勉組合長より来賓の挨拶の後、佐々木昇副会長の牛乳による乾杯の発声でパーティーが始まりました。『かき氷コーナー』に



『かき氷コーナー』冷たくておいしい～！

は、お子様達を中心に長い行列が出来、大変好評でした。また、テントの中ではバーベキューを囲んで、美味しい食事と楽しい会話で日頃の労をねぎらって頂きました。

イベントとしては、ジャンケン大会、地区対抗戦、抽選会が行われました。お子様向けのジャンケン大会では、着ぐるみの牛さんとジャンケンをしてもらい、勝ったお子様には花火セットを、惜しくも負けてしまったお子様にもお菓子の詰め合わせを渡し、参加した子供さん達は笑顔で賞品を受け取っていました。続く地区対抗戦はぐるぐるバット&スプーンでのゴルフボール運び、アメ玉探し、数種類より一つ選んでの早食い、借り物の競争を各地区代表4人の選手が分担してリレーする障害物競走です。1等賞品を持ち帰るべく全力でチャレンジしました。早食いでは、バナナなど比較的食べやすい物ではなく、乾いて食べにくそうなえびせんや麩菓子をご用意する人もおり、苦戦しながらも白熱した競争をしていました。また、借り物競争は、ユニークなお題に戸惑いながらも笑顔で懸命にゲームに挑んでいました。最後は恒例のお楽しみ抽選会です。抽選箱に入った用紙を藤田会長に引いてもらい、地区名、氏名が読み上げられる度に、各地区テントの



お楽しみ『ジャンケン大会』

中は大変盛り上がりっていました。関係各位のご協力により、今年も楽しい夏のひとつを大勢の参加者と共に過ごすことが出来、誠にありがとうございました。来年も沢山の方のご参加をお待ちしております。

宇都宮支所

『食べて・飲んで・笑って』

『支所全体交流会』

8月4日、支所活動推進協議会（松井実会長）主催の全体交流会が支所前広場にて開催されまし



お楽しみ会「お宝取り放題」

た。当日は夏休み期間中でもあり、お子様連れの家族も多く、関係業者の方々を含め87名が参加し、楽しいひとときを過ごされました。今年度は、新たにバーベキューセット6基を作成したほか、管内組合員の懇親をより深めて頂ける様に、テント配置を工夫しながら交流会を行いました。

当日の天気は曇り空。涼を感じさせる会場内は、絶好のバーベキュー日和で、参加者は大いに食欲が増したと思います。その他、生ビールやかき氷も人気がありました。また、同一地域内での会話に限らず、他地域の参加者と交流されている方も多く見受けられ





三鷹の森ジブリ美術館にて

ました。更に、恒例の余興では抽選会や子供対象に、お宝（お菓子やおもちゃ）取り放題のお楽しみ会を行い、大いに盛り上がりましました。

“食べて・飲んで・笑って”懇親を深めながら、一日を十分に満喫されたことと思います。

『東京にて水族館と美術館見学』

（女性会那須南支部）

7月19日、女性会那須南支部（興野礼子支部長）研修会として、14名参加のもと東京方面へ行ってきました。

まず、品川プリンスホテルの水族館「アクアパーク品川」を見学しました。館内は11のエリアで展

開されており、多種の海水魚やイルカのショーを見て楽しみました。見学後は、同ホテルで昼食を摂り、「三鷹の森ジブリ美術館」に移動しました。同美術館は、トトロやもののけ姫で有名な宮崎駿氏がデザインしており、館内の様々な仕掛けや装飾を見学したほか、映画製作の舞台裏なども学びました。ジブリは世代を越えてファンも多く、参加者も楽しみながら見聞を広めることが出来ました。

最後に、車中にて興野支部長より、今回の研修会参加の御礼を述べられたと共に、今後女性会員の家族で嫁や後継者の娘など、同じ立場の女性同士が集まる機会を作りたいと話され、支部員の皆さんに協力をお願いし、帰路につきました。

県南支所

『スガノ農機(株)視察研修』

茂木町酪農組合夏季研修として、今年で創業100年を迎えたスガノ農機株式会社（茨城県美浦村）を視察しました。

まず、事務所で会社紹介とプラウやサブソイラ等による深耕の重要性の説明を受けました。深耕は根の生育範囲を拡大し、さらに土中環境を改善・保持する。また反転や鋤き込みによって、疲労した



スガノの製品

土壌に有機物や堆肥等を供給することに加え、下層で休息保全させて肥沃度を上げる。作物は土の中から養分を吸収して生育するため、やがて土の中の養分が失われるので、有機物を土の中に入れていければ地力が低下してしまふ。そのため、収穫後に地上に残った養分はもちろん、収穫した実より多くの有機物を土の中に戻す必要がある。さらにその有機物が腐植・分解されて、作物の生育に適した団粒構造の土となる。これが望ましい土づくりの条件であり、永久持続農業の基本だという。なお、良好な条件下では麦類や大豆の根は1m以上、トウモロコシの根は2m以上まで達することが確認されている。そして根の伸びが良ければ、倒伏にも強いことは明らかである。



見学風景

その後、プラウ等のスガノ製品品の生産工場の見学を行いました。ベアリング穴の精度や硬化肉盛溶接による耐摩耗性の向上など、スガノの技術力の高さが垣間見えしました。参加した組合員のひとり「スガノの製品はあまり値引きせず高いと思っていましたが、生産現場を見て詳しい説明を聞くとそれやむを得ない」と言っていました。良質自給飼料生産の安定と拡大のためには、その基礎となる「土づくり」が大切です。今回の研修でその重要性を再認識しました。



部課だより

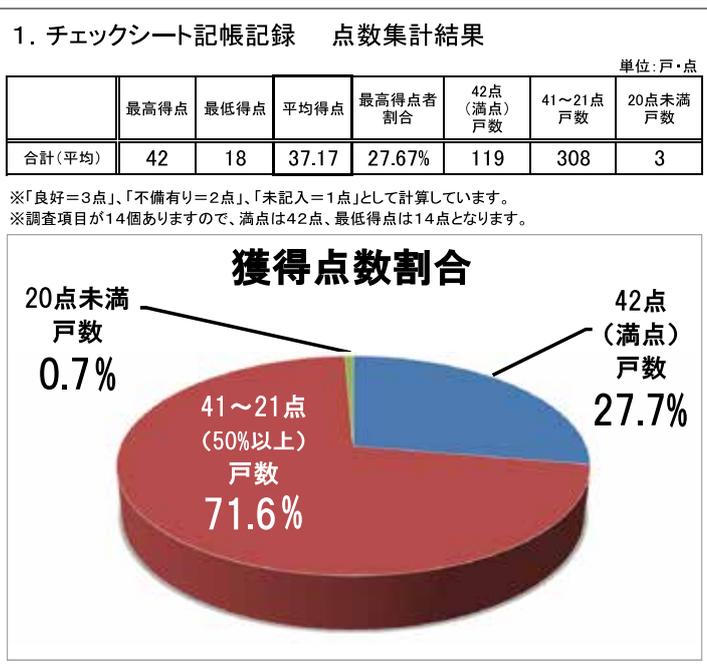
指導企画課

● 生乳生産チェックシート・牛舎環境調査結果報告

8月に実施しました、調査の結果を報告します。

1. 生乳生産管理チェックシート 記帳記録の結果について

生乳生産管理チェックシート



資料1

は、「バルク・ミルク」の点検記録、「牛舎消毒実施・記録」が特に多く、逆に組合員皆様のご協力で、重点項目「搾乳機器洗浄記録」・「医薬品投薬記録」・「農薬使用量記録」は未記入者が0を維持することが出来ました。

(以下、チェックシート)は、全14項目をチェックしています。記帳状況によって、【良好…3点】、【不備有…2点】、【未記帳…1点】と配点し、全項目良好の場合、満点は42点となります。

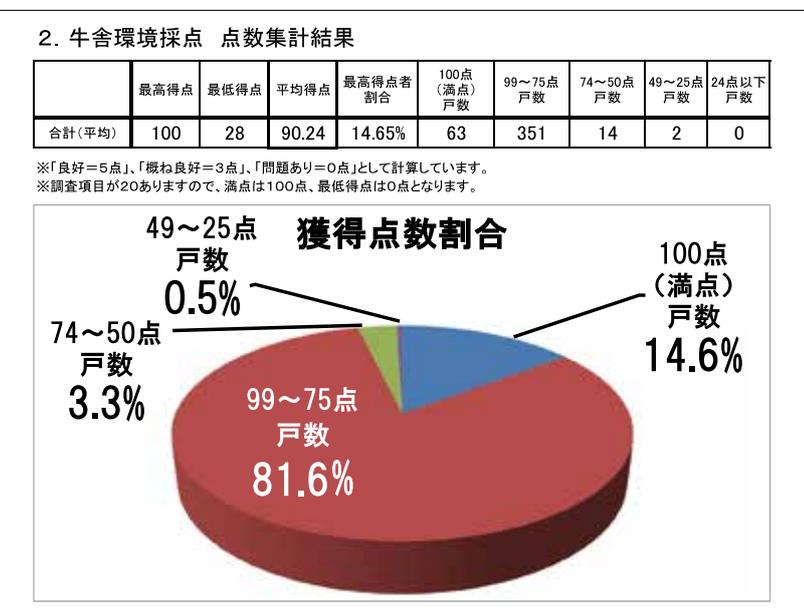
結果については【資料1】をご参照ください。全支所の平均得点は37・17点でした。満点者は119戸で全体の約28%でした。また、ほとんどの方が21点以上(配点の50%以上獲得)でした。

未記入の方が多い項目について

2. 牛舎環境調査の結果について

牛舎環境調査の調査項目につきましては、今回の平成29年度夏から、項目の整理を行い、従来の25項目から、20項目に集約しました。また、点数も0〜4点の5段階評価から、0点・3点・5点の3段階評価となりました。満点は100点となります。

全支所平均データにつきまして【資料2】をご覧ください。



資料2

全体の最高点は100点、最低点は28点で、平均点は90・24点となりました。100点をとった組合員さんの割合は、全体で14・65%でありました。96・28%の方は、75点以上の点数を獲得し、皆様の努力によってよりよい生乳生産環境が維持されていることが分かりました。

0点とされた方が多い項目は、「牛舎・処理室消毒槽の状況」でした。九州の口蹄疫が収束してはや6年が経過しておりますが、依然としてアジア各国では口蹄疫をはじめとした各種疾病が時折発生している状態です。ぜひ、牛舎・処理室前への消毒槽設置や、衛生管理区域を設定し、病原体が入り込まないような対策を継続して実施して頂きますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

● 乳牛飼養動態調査

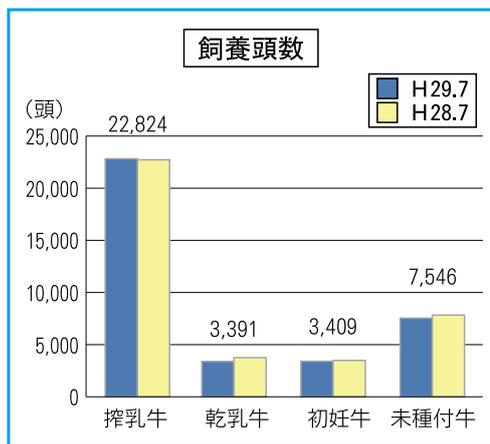
7月1日現在での乳牛飼養動態調査の結果がまとまりましたので、ご報告します。

1 出荷者戸数・飼養頭数について

前年7月と比較すると酪農中止は18戸(団体公共を除く)となり、出荷者数は前年同月比4・0%減の430戸となりました。廃業の理由は、高齢や後継者がいない11戸、経営不振2戸、病気療養その他5戸でありました。なお、酪農中止者18名の廃業時の合計飼養頭数は277頭でした。

2 飼養頭数について

飼養頭数の内訳は、経産牛は前年7月比1・0%減少し2万6215頭、自家育成牛は前年比3・3%減少し7721頭、外部預託牛は前年比2・8%減の3234頭でした。また、1戸あたりの平均飼養頭数は2・0頭増

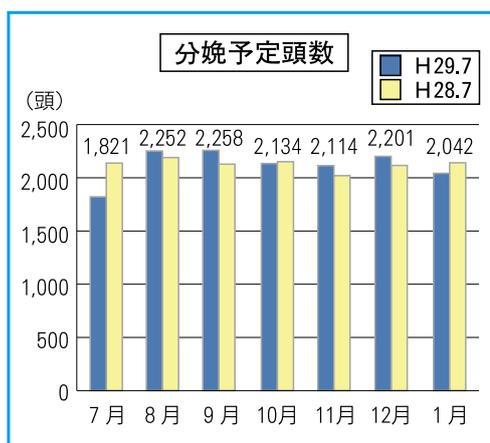


加し、86・4頭で前年に引き続き増加しています。

なお、搾乳牛は前年より0・4%増加し2万2824頭、乾乳牛は9・6%減少し3391頭でした。

3 分娩頭数について

育成牛(自家・外部預託含む)の保有率は、0・49%減少し29・47%で合計1万0955頭となりました。平成30年1月までの分娩予定頭数は、前年同期分娩実績に比べ62頭減少し1万4822頭となっています。単月で見ると、7月が昨年より大きく減少(14・8%減)しており、その他の月では一定のラインで増減しています。(月平均2・0%、最大は9月で6・0%)平成29年度下期の乳量動向は、月によって増減はあるものの、期間全体の前年比が減となっていることから、ほぼ例年並みから微減で推移するものと思われれます。



乳牛飼養動態調査表

(平成29年7月1日現在)

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数								1戸平均飼養頭数	繁殖和牛経産牛数	月別分娩予定頭数									
			経産牛			自家育成牛		外部預託牛					合計	育成牛保有率(%)	(カッコ内は内数で判別精液頭数、また下段は平成28年7月の実績頭数)							
			搾乳	乾乳	小計	初妊	未種付	初妊牛	未種付牛	7月					8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計	
那須高原支所	H29.7	270	14,772	2,164	16,936	1,664	3,340	590	1,555	24,085	29.68	89.2	855	1,142(112)	1,437(159)	1,455(156)	1,328(168)	1,310(172)	1,339(184)	1,271(162)	9,282(1113)	
	H28.7	282	14,747	2,330	17,077	1,650	3,396	590	1,448	24,161	29.32	85.7	790	1,331	1,382	1,361	1,304	1,238	1,353	1,359	9,328	
	増減	▲12	25	▲166	▲141	14	▲56	0	107	▲76	0.36	3.5	65	▲189	55	94	24	72	▲14	▲88	▲46	
宇都宮支所	H29.7	75	2,923	423	3,346	476	891	137	488	5,338	37.32	71.2	70	231(27)	267(32)	302(43)	291(41)	304(36)	298(35)	280(41)	1,973(255)	
	H28.7	76	2,894	448	3,342	506	997	116	360	5,321	37.19	70.0	83	260	270	260	276	293	293	328	1,980	
	増減	▲1	29	▲25	4	▲30	▲106	21	128	17	0.13	1.2	▲13	▲29	▲3	42	15	11	5	▲48	▲7	
南支所	H29.7	85	5,129	804	5,933	414	936	128	336	7,747	23.42	91.1	27	448(24)	548(27)	501(22)	515(27)	500(24)	564(18)	491(25)	3,567(167)	
	H28.7	90	5,083	974	6,057	507	943	119	694	8,320	27.20	92.4	34	547	538	507	571	489	470	454	3,576	
	増減	▲5	46	▲170	▲124	▲93	▲7	9	▲358	▲573	▲3.78	▲1.3	▲7	▲99	10	▲6	▲56	11	94	37	▲9	
小計	H29.7	430	22,824	3,391	26,215	2,554	5,167	855	2,379	37,170	29.47	86.4	952	1,821(163)	2,252(218)	2,258(221)	2,134(236)	2,114(232)	2,201(237)	2,042(228)	14,822(1535)	
	H28.7	448	22,724	3,752	26,476	2,663	5,336	825	2,502	37,802	29.96	84.4	907	2,138	2,190	2,128	2,151	2,020	2,116	2,141	14,884	
	増減	▲18	100	▲361	▲261	▲109	▲169	30	▲123	▲632	▲0.49	2.1	45	▲317	62	130	▲17	94	85	▲99	▲62	
団体	H29.7	1	11	4	15	0	3	0	0	18	16.67	18.0	20	0(0)	2(0)	1(0)	1(0)	3(0)	1(0)	0(0)	8(0)	
	H28.7	2	21	12	33	5	7	0	0	45	26.67	22.5	3	4	6	1	2	0	1	2	16	
	増減	▲1	▲10	▲8	▲18	▲5	▲4	0	0	▲27	▲10.00	▲4.5	17	▲4	▲4	0	▲1	3	0	▲2	▲8	
合計	H29.7	431	22,835	3,395	26,230	2,554	5,170	855	2,379	37,188	29.47	86.3	972	1,821(163)	2,254(218)	2,259(221)	2,135(236)	2,117(232)	2,202(237)	2,042(228)	14,830(1535)	
	H28.7	450	22,745	3,764	26,509	2,668	5,343	825	2,502	37,847	29.96	84.1	910	2,142	2,196	2,129	2,153	2,020	2,117	2,143	14,900	
	増減	▲19	90	▲369	▲279	▲114	▲173	30	▲123	▲659	▲0.49	2.2	62	▲321	58	130	▲18	97	85	▲101	▲70	



生乳受託課

平成29年8月度の組合生乳生産量は、昨年同月乳量と比較し98・4%（1万9334t）と、7月の猛暑の影響もあり2ヶ月連続で前年を下回る状況です。各支所の受入乳量は、那須高原支所1万2633t（前年比98・5%）、宇都宮支所2489t（同100・6%）、県南支所4212t（同96・6%）となり、宇都宮支所のみ前年を上回る状況が続いています。出荷者数は、前年同月より17戸減の430戸（内、学校は1校）でした。

8月度の組合平均乳質は、脂肪率3・73%（前年差+0・04%）、無脂固形分率8・67%（同▲0・03%）、体細胞数22・22万（同+0・64万）の成績となりました。尚、8月迄の不合格件数は413件で、前年同期397件を16件上回っており、体細胞数並びに細菌数の不合格件数増が要因となっております。

関東生乳販連の8月総受託乳量は8万7953t（前年比98・0%）となり、7月以降2ヶ月連続し前年を下回る状況となりました。

また用途別の販売数量は、梅雨明け以降快晴の日が少ない中、飲用向け、加工向けとも生産量（前年比98・0%）に準じた数量となり、はっ酵乳、チーズ向けが若干

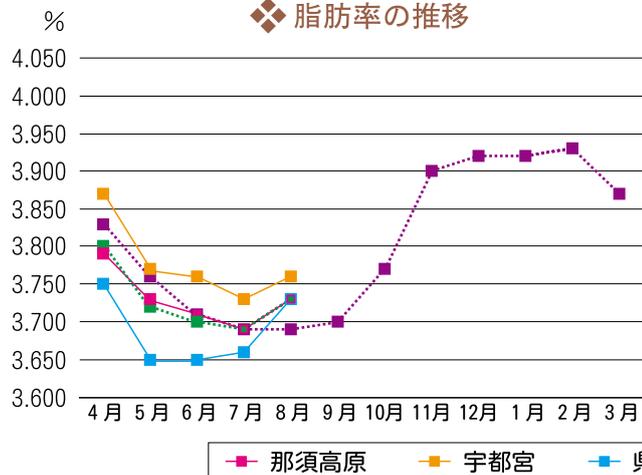
前年を上回りました。8月の全国の生産量は、北海道が前年比99・7%と回復基調の中12ヶ月連続の減少、都府県は猛暑等の影響から96・3%と減少し23ヶ月連続し前年を下回りました。このため、全国の生産量は98・1%と17ヶ月連続で前年割れの状況です。

尚、平成29年8月の生産量・乳質、関東生乳販連の用途別販売数量は別表のとおりとなっております。

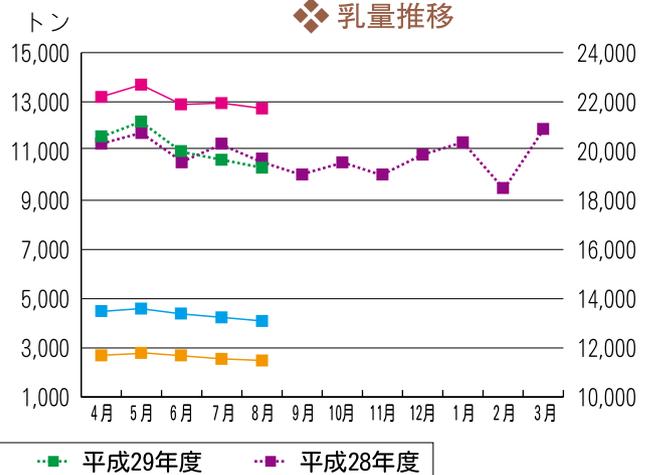
平成29年度 関東生乳販連用途別販売数量（単位：kg・%）

用途	8月期実績	前年同期実績	前年比	8月末実績(累計)	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	63,720,221	65,168,414	97.8	351,798,630	352,122,693	99.9
(うち学校向け)	607,331	662,501	91.7	43,776,013	43,806,358	99.9
はっ酵乳向け	13,778,595	13,640,839	101.0	68,327,992	66,508,906	102.7
特定乳製品向け	8,795,952	9,061,837	97.1	37,154,545	41,992,712	88.5
(うち委託加工向け)	0	0	-	0	0	-
生クリーム向け	1,583,521	1,763,216	89.8	7,975,382	8,202,649	97.2
チーズ向け	75,237	74,123	101.5	318,400	321,834	98.9
全乳哺育向け	0	0	-	0	0	-
総受託乳量	87,953,526	89,708,429	98.0	465,574,949	469,148,794	99.2
加工比率	10.00	10.10	-	7.98	8.95	-

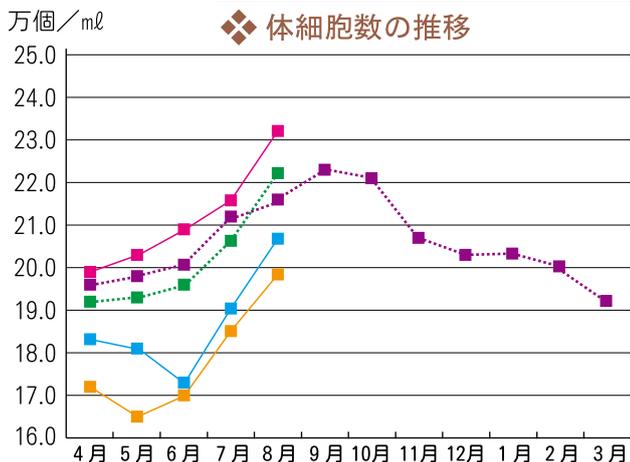
◆ 脂肪率の推移



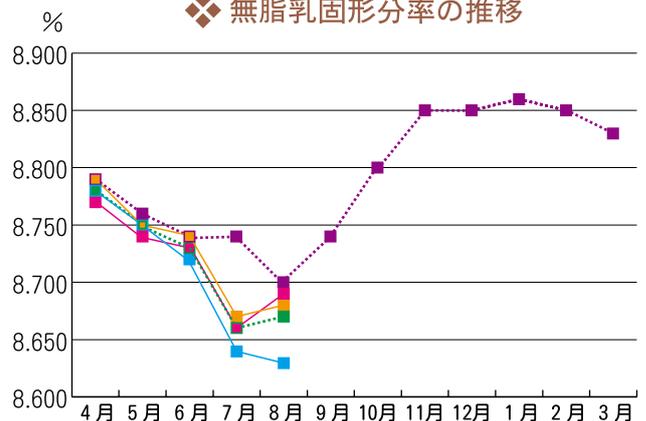
◆ 乳量推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



理事会だより

7月度理事会（7月28日）

報告事項

- (一) 組合員の加入について
 - (二) 業務経過報告について
 - (三) 組合資金貸付について
 - (四) 賃上げ及び夏季手当の支給について
 - (五) 組合プール乳価について
 - (六) 特別管理未収金の報告について
 - (七) 乳牛飼養動態調査結果について
 - (八) 子会社の第1四半期事業実績について
 - (九) 関東生乳販連情報について
- ### 協議事項
- (一) 6月度及び第1四半期事業実績について
 - (二) 固定資産の取得について
- ### 8月度理事会（8月30日）
- ### 報告事項
- (一) 組合員の加入について
 - (二) 業務経過報告について
 - (三) 組合資金貸付について
 - (四) 訴訟の和解について
 - (五) 組合プール乳価について
 - (六) 東京電力原発事故農畜産物損

- (七) 害賠償について
- (八) 生乳生産管理チェックシート
- (九) 記帳・記録状況について
- (十) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 7月度事業実績について
- (二) 初妊牛・酪農業用施設・酪農業用機械リース事業規程の一部改正について
- (三) 平成29年度乳用後継牛緊急確保事業及び畜産・酪農生産力強化対策事業の対応について
- (四) 規程等の一部改正について
- (五) 酪農ヘルパー傷病時利用互助会規約の一部改正について
- (六) 固定資産の取得について（追認）

ミルクの国とちぎ

栃木県酪農フェア2017

第27回栃木県ホルスタイン共進会

平成29年 **10月14日(土)** 9:30～15:00(雨天決行) 栃木県畜産酪農研究センター (那須塩原市千本松298)

消費者とのふれあいゾーン

- ミルク王国フェア
- ① 栃木県産牛乳試飲コーナー (飲もう新鮮で安心・安全なとちぎの牛乳)
- ② ミルク子供広場コーナー
- ③ パン作り体験コーナー
- ④ ミルクバスボム工作コーナー
- ⑤ ミルクドーナツ販売コーナー
- ⑥ 乳製品販売等
- 搾乳模擬体験コーナー・子牛ふれあいコーナー・牛乳入り豚汁コーナー
- 手造りピザ体験教室・フードコーナー 等々

ミルクの国ゾーン

第27回栃木県ホルスタイン共進会 同時開催

- 乳牛(ホルスタイン種)80頭出品
- 酪農関連業者の展示 等

併催 栃木県畜産酪農研究センター公開デー

主催：栃木県酪農協会 宇都宮市平出工業団地6-7
後援：栃木県・酪農とちぎ農業協同組合・栃木県酪農協同組合・西毛酪農協同組合・北那須酪農協同組合・那須酪農協同組合
協賛：栃木県牛乳普及協会

お知らせ

「栃木県酪農フェア2017」開催のお知らせ

栃木県酪農協会主催「栃木県酪農フェア2017」及び「第27回栃木県ホルスタイン共進会」が以下の通り開催されます。

楽しい催しが盛りだくさんです。皆様のご来場をお待ち申し上げます。

日時 平成29年10月14日(土) 9時30分～15時00分 (雨天決行)

場所 栃木県畜産酪農研究センター (那須塩原市千本松298)

8月度 ホクレン初妊牛市場成績 [単位：千円(税込)]

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	(そのうちET牛)		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
豊富	8月18日	272	166	61.0%	850	10	5	998
釧路	8月23日	227	165	72.7%	776	11	4	958
根室	8月24日	379	286	75.5%	802	41	24	944
北見	8月28日	398	284	71.4%	816	17	14	912
十勝	8月29日	791	622	78.6%	861	92	78	1,031
合計		2,067	1,523	73.7%	821	171	125	969
前月		2,014	1,641	81.5%	847	198	182	1,042
前年同月		2,032	1,753	86.3%	726	175	133	909

初妊牛の今後の動向は12月～2月分娩が中心となります。8月の各市場では、都府県の猛暑の影響から需要が低下した為、若干の下落となりました。しかしながら、今後道内・都府県において本格的な初妊牛導入のシーズンを迎え、道内外の酪農家・メカファームの導入が旺盛となる見込みであるため、価格上昇に転ずるものと考えられます。導入を希望される方は遠慮・種付け前育成も視野に入れた上、条件・価格等に十分余裕を持ってのお申込みをお願い申し上げます。

8月度 県内家畜市場成績 [単位：円(税込)]

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
	F1雄	145	62	381,240	68,040	265,702	4,469
	F1雌	99	57	273,240	51,840	192,218	6,386
館林(8/27)	ホルス雄	0	0	0	0	0	▲151,794
	F1雄	12	96	374,760	314,280	337,590	6,493
	F1雌	5	92	349,920	284,040	315,360	25,245

今回の初生牛取引価格は前回から比較し、ホルスやや弱含み、F1はやや強含みで推移しています。素牛相場や枝肉市場等の動向で初生牛相場も影響を受けますが、那須市場ではお盆明けの開催と比較すると16千円～44千円程度の値下がりとなっています。今後も回ごとに値動きを繰り返しつつ、概ね堅調に推移していくものと思われます。

